【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2006-5465(P2006-5465A)
【公開日】平成18年1月5日(2006.1.5)
【年通号数】公開・登録公報2006-001
【出願番号】特願2004-177179(P2004-177179)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/76　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/907　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/91　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ 101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　F
Ｈ０４Ｎ　5/76　B
Ｈ０４Ｎ　5/907　B
Ｈ０４Ｎ　5/91　J
Ｈ０４Ｎ 101:00

【手続補正書】
【提出日】平成19年6月15日(2007.6.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮影前は未確定で撮影時に確定する撮影動作情報を記憶するメモリと、
前記撮影により取得した前記画像データの格納場所を指定する指定手段と、
画像データの格納場所を複数設定する設定手段と、
前記画像データの格納場所を示すリンクデータを作成するリンク作成手段と、を有し、
前記指定手段は、前記確定した撮影動作情報に応じて、前記設定された複数の格納場所のうち１つを指定するとともに、前記画像データの格納場所とは異なる場所を前記リンクデータの格納場所に指定することを特徴とする撮影装置。
【請求項２】
前記指定手段は、前記リンクデータのみを格納する格納場所を設けることを特徴とする請求項１に記載の撮影装置。
【請求項３】
前記撮影動作情報は、使用者が設定する動作情報とは異なる情報であることを特徴とする請求項１又は２に記載の撮影装置。
【請求項４】
前記撮影動作情報は、該撮影装置の姿勢、該撮影装置に設けられた照明部の発光の有無、該照明部の発光量、撮影光学系の像振れ補正量のうち少なくとも１つを含むことを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載の撮影装置。
【請求項５】
請求項１から４のいずれか１つに記載の撮影装置と、
前記撮影装置から出力された前記画像データを、前記指定された格納場所に保存する記

憶装置と、を有することを特徴とする画像管理システム。
【請求項６】
撮影前は未確定で撮影時に確定する撮影動作情報を記憶する記憶工程と、
前記撮影により取得した画像データの格納場所を指定する指定工程と、
画像データの格納場所を複数設定する設定工程と、
前記画像データの格納場所を示すリンクデータを作成するリンク作成工程と、を有し、
前記指定工程は、前記確定した撮影動作情報に応じて、前記設定された複数の格納場所のうち１つを指定するとともに、前記画像データの格納場所とは異なる場所を前記リンクデータの格納場所に指定することを特徴とする画像管理方法。
【請求項７】
前記指定工程で指定された格納場所に前記画像データを格納し、前記画像データの格納場所とは異なる格納場所であって、前記リンクデータのみを格納する格納場所に前記リンクデータを格納する格納工程をさらに有することを特徴とする請求項６に記載の画像管理方法。
【請求項８】
請求項７に記載の画像管理方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。
【請求項９】
請求項８に記載のプログラムをコンピュータ読み取り可能に記憶したことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
本発明の撮影装置は、撮影前は未確定で撮影時に確定する撮影動作情報を記憶するメモリと、前記撮影により取得した前記画像データの格納場所を指定する指定手段と画像データの格納場所を複数設定する設定手段と、画像データの格納場所を示すリンクデータを作成するリンク作成手段とを有する。そして、上記指定手段は、確定した撮影動作情報に応じて、設定された複数の格納場所のうち１つを指定するとともに、画像データの格納場所とは異なる場所を前記リンクデータの格納場所に指定することを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
２０９はミラーＭＭＲに設けられたハーフミラー、２１０はサブミラー２１０であり、カメラ本体２０１が非撮影状態にあるときには撮影光路内に配置され、撮影状態にあるときには撮影光路から退避した位置にある。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】

３０４は測光回路で、撮影光学系に入射した光量を検出してＭ－ＣＰＵ３００に出力する。この測光情報に基づいて、撮影に必要なシャッタスピードと絞り値が決定される。３０５はストロボ発光測光回路で、ストロボ発光ユニット２０２の発光量を測光し、ストロボ発光制御回路３０２に測光情報を出力する。そして、Ｍ－ＣＰＵ３００からの指示に基づいてストロボ発光制御回路３０２がストロボ発光ユニット２０２に対する光量制御を行う。